

№5：県内観光地に高い関心 風物詩「ブックフェア」

香港の夏の風物詩である、B t o C（対消費者商取引）イベント「香港ブックフェア」。来場者約 100 万人を誇る香港最大の同イベントには、2014 年からジャパンパビリオンが設置され、日本の地方自治体や観光事業者が出展し観光プロモーションを実施している。

本年度も例年同様に 1 週間（7 月 17 日～23 日）という長丁場で開催され、昨年度に引き続き本県もジャパンパビリオンへ出展し観光 PR を実施してきた。

本県ブースでは、世界中から壮大な藤棚を見に観光客が訪れるあしかがフラワーパーク、色とりどりの花が咲き乱れる那須フラワーワールド、鮮やかな紅葉に囲まれた華厳の滝と中禅寺湖、雪と灯が入り交じり幻想的な雰囲気醸し出す湯西川温泉のかまくら祭の写真を使い、四季折々の美しさを前面に打ち出した。

昨年度は「どこに栃木県があるか分からない」という声が多く聞かれたため、ブースの側面パネル一面を使って本県近郊の地図と、東京方面からの鉄道やバスでのアクセス方法・時間を表示するとともに、県内の見どころも合わせて紹介した。

各市町の観光パンフレットも日本から送ってもらい、バラエティー豊かな県内各地の観光地を PR することができた。昨年度よりかなり多めにパンフレットを用意したが、最終日の正午過ぎにはすべてなくなり、多くの方が県内各地の観光地に高い関心を示してくれたと感じている。

本年度のジャパンパビリオンには 26 地域の自治体および観光協会（うち初出展 5 団体）が出展したが、中でも開催まで 1 年を切った大阪・関西万博のブースでは、公式キャラクター「ミャクミャク」との記念撮影会やクイズイベントが毎日開催されるといった力の入れようであった。

自見英子万博相も視察に訪れ、大阪・関西万博ブースはもちろん、本県ブースでの交流も行われた。

大阪・関西万博には 350 万人もの外国人が来場することが見込まれており、香港からも多くの観光客が訪れると考えられる。万博開催を控え訪日旅行の関心がさらに高まっているこの機会に、本県を旅行先として選んでもらえるよう、引き続き観光 PR に取り組んで参りたい。

（県香港事務所長 卯木啓之）



【来場者でにぎわう本県ブース＝7月20日、湾仔の香港コンベンション&エキシビションセンター】